## 令和7年度第2回北方町総合教育会議会議録

令和7年10月24日、北方町総合教育会議を北方町役場まなびの広場で開催した。

本日会議に付した事案は次のとおりである。

日 程

- 第 1 令和8年度教育委員会の重点施策について
- 第 2 町長あいさつ
- 第 3 意見交流
- 1. 本日の会議の出席委員は、次のとおりである。

町長・・・・・・ 戸部 哲哉

教育長・・・・・・名取 康夫

教育委員・・・・・・林 明夫、安田 和夫、佐野 和美、村瀬 康一郎

1. 委員以外の出席者は次のとおりである。

教育次長・・・・・・・山路 康代

教育総務課長・・・・・・北中 龍一

主 幹・・・・・・・植田 一弥

主 幹・・・・・・・高井 勇一

課長補佐・・・・・・神谷 洋志

- 1. 課長補佐 午前9時30分 令和7年度第2回北方町総合教育会議を開催する旨を述べる。
- 1. 課長補佐 教育長より令和8年度教育委員会の重点施策について説明を求める。
- 1. 教育長 資料に基づき、令和8年度教育委員会の重点施策について説明する。
  - ○学校教育 【だれもが安心して学び合うことができ、次世代がたくましく育つ

ようにする】

≪生きる力の育成≫

·学校教育課指導主事1名增員

- ・ 教員研修の充実
- ・ 異学年教育の推進
- ≪安全・安心な園・学校づくり≫
  - いじめ、不登校対策支援員、介助員等の配置
- ≪教育環境の整備≫
  - ・こども園保育室の増築
  - ・柔剣道場等の鏡と床の整備、部活動改革
  - ・給食費の助成
- ○社会教育 【文化、芸術、スポーツの振興を図り、いつまでも学び続けられるようにする】
  - ≪文化・芸術の振興≫
    - ・きらりホール主催事業の継続
  - ≪スポーツの振興≫
    - ・総合体育館のエアコン整備と大規模改修
    - ・歩け歩け運動の拡充 (バス増便)
  - ≪生涯学習の推進≫
    - ・図書館のエアコン等整備
  - ≪家庭・地域の教育≫
    - 家庭教育学級の拡充
    - ・地域連携の充実
- 1. 町 長 教育委員のみなさんには、日頃より町の教育行政にご協力いただいていることを 感謝している。夏が終わり、秋を通り抜けて寒くなって来ている。明日が学園の運 動会ということで、秋の運動会シーズンの最後となりますが、天気が心配な感じな ので、何とか開催できないかなと思っております。

来年度の予算については、一通り目を通し、教育長からも相談を受けているが、施設の老朽化が目立つようになってきている。今年度中もエアコンが故障したり、雨漏りがあったりとその都度、改修予定としているが来年度に関しても何とか応えていきたいと思っている。こども園の増築に関しても、未満児での預かり要望が多いとのことで、部屋を増築して対応できるよう今年度より計画している。将来的には少子化の影響より、空き教室化すると思われるので、その教室を利活用できれば

よいと思う。給食費に関しては、今年度より食材の値上げ等に対応するため、補正での助成をしたが、来年度もすぐ変わることはないので、引き続き助成をしていきたい。主催事業に関しても無料ということがあると思うが、好評を得ている。全国的に学校再編が注目されており、全国からの視察の対応も大変だと思われるが、良いモデルになれるよう順調に進んでいると思う。この街の魅力として、観光資源が乏しいところがあるので、住み心地がよい町、教育の町として全面的に押していけるよう予算に関しても何とか確保して、教育環境がよくなるよう対応していきたい。

- 1. 林委員 総合体育館の改修設計費がえらく高額だが。
- 1. 町長 総合体育館を建設して37年たっている。空調機入れ替えと雨漏りなどの建物改 修をしっかりとやっていかなくてはいけないが、総額がとんでもなくかかる。全 て一気にとはいかないが、何とか対応したい。
- 1. 佐野委員 利用料金などはどうしているのか。
- 1. 町長 利用料は町外者の利用は町民の倍にはなっているが、これだけの施設の照明、エ アコン等を利用する電気代には到底まかなえない。町外者の利用は北方町を知っ てもらうサービスだと思っている。
- 1. 佐野委員 家庭・地域の教育の中に放課後の居場所づくりとあるが、話の中に来年度高齢者 施設の改修するというお話があったが、高齢者と子供たちが放課後、一緒に集える とかの計画はないか。
- 1. 町長 いい話だと思う。全国的に見ればそのようなことをしている市町はあると思うが、 北方町では交流させる土壌がまだない。現状としては、放課後児童クラブか子ど も館になっている。高齢者と子供たちがまじあうことができればより良いと思う。
- 1. 安田委員 不登校対策支援員や介助員の配置については、重度の障害があったり、医療的ケアが必要な子どもへ対応は通常の小・中学校でも、対応が通常化してきている。 今後、いつでも対応できるよう対策されるのは良いと思う。先ほど言われた高齢者と児童生徒の交流はこれから大変大事になってくると思う。ずっと監督する必

要があったりとかケガのリスクなどもあるし、移動に関しての問題もあるが、児童生徒・高齢者ともに優しい感情が生まれたり、居場所づくりにもなったりすると思う。

- 1. 村瀬委員 図書館のエアコンの故障とあるが、今年の夏は使えたのか。
- 1. 教育長 夏の終わりに故障したため、猛暑のあたりは使用できていたが、終わりにかけて 蒸し暑かったりする日は扇風機やサーキュレーターで対応した。
- 1. 村瀬委員 寒いのは何とかなるが、熱いのはどうにも対応することができない。こういった 施設の空調は壊れたからすぐ修理して直るものでもない。部品の調達や改修に時間がかかるため、計画的に進めないといけないのが大変だと思う。
- 1. 課長補佐 他に質疑がないことを確認し、午前11時45分、本日の付議事項がすべて終了 した旨を述べ、本会議の終了を告げた。